

I 事業計画

令和2年度 事業計画

1 軌道事業実施に向けた事業

令和2年度は、開業2年前となる中で、安全で安心、かつ、安定的な運行に向けた運営体制の構築や、運賃收受方式の構築、運行開始に向けた法定手続き、普及・啓発活動等を着実に進めるため、以下に掲げる事業を実施する。

(1) 開業に向けた組織体制の構築に係る事業

- ・ L R Tの運行に必要となる運転士、土木・電気・機械等の技術職の確保に向けて、引き続き、プレエントリー制度や、当社HP、就活ナビサイト、ハローワーク等を活用した公募での採用活動を進めるとともに、協力軌道事業者へ運転士候補者を出向させ、L R Tの運転に必要な免許の取得や、業務に関連する車両や保線等の技術を習得させるなど、計画的に運転士養成を進めていく。
- ・ 全国23の路面軌道事業者で組織する「全国路面軌道連絡協議会」に参画し、情報収集に努めるとともに、指導助言を得ながら、軌道事業者としての経営面や技術面のノウハウ・スキルを蓄積していく。

(2) 運賃收受方式の構築

- ・ バスの定期券や各種割引などの地域独自サービスと、乗車券や電子マネーなどのSuicaのサービスがカード1枚で利用可能となる「地域連携ICカード」の運用開始に向け、「宇都宮ICカード導入検討協議会」に参画し、ICカード主体の運賃收受システムの構築に取り組むとともに、乗り継ぎ割引制度などの実現に向けた検討を進める。
- ・ 車両長30m級車両において、全国初となる、全扉乗降による信用乗車方式での運賃收受の実現に向け、効率的な運用方法の更なる検討や、利用者に対する利用方法の周知に取り組む。

(3) 運行開始に向けた法定手続きの取組

旅客運賃を定める「運賃認可」や、車両の運転速度や運転ダイヤを定める「運転速度及び度数認可」の2021年度の認可取得に向けて取組を進めるなど、運行開始に向けた法定手続きを国などの関係機関と協議、調整を行いながら進めていく。

(4) L R Tの利用促進策の検討

運行事業者として、L R Tの利用者増を図り、継続的に安定した経営を図るとともに、公共交通の利用促進に向けたモビリティ・マネジメントを推進するため、企業や学校などと意見交換を行いながら、勤務体系、通学の状況やニーズに合わせた運行計画・運賃割引制度の設定など、L R Tの効果的な利用促進策について検討する。

(5) 企業価値の向上に向けた取組

行政と連携・協力して取り組むトータルデザインを活用し、シンボルマーク、制服のデザイン、広報計画等の検討を進めるとともに、コーポレート・アイデンティティ（C I）の考え方を取り入れながら、当社の独自性や新規性を発信するなど、企業価値の向上に向けた取組を進めていく。

(6) スマートシティ実現に向けた取組

産学官が連携して推進している「スマートシティモデル事業」の実施主体となる「Uスマート推進協議会」へ参画し、「宇都宮版M a a S」の検討を進めるなど、スマートシティの実現に向け、効果的にL R T事業を推進する。

2 普及・啓発事業

(1) 効果的な広報活動の検討・実施

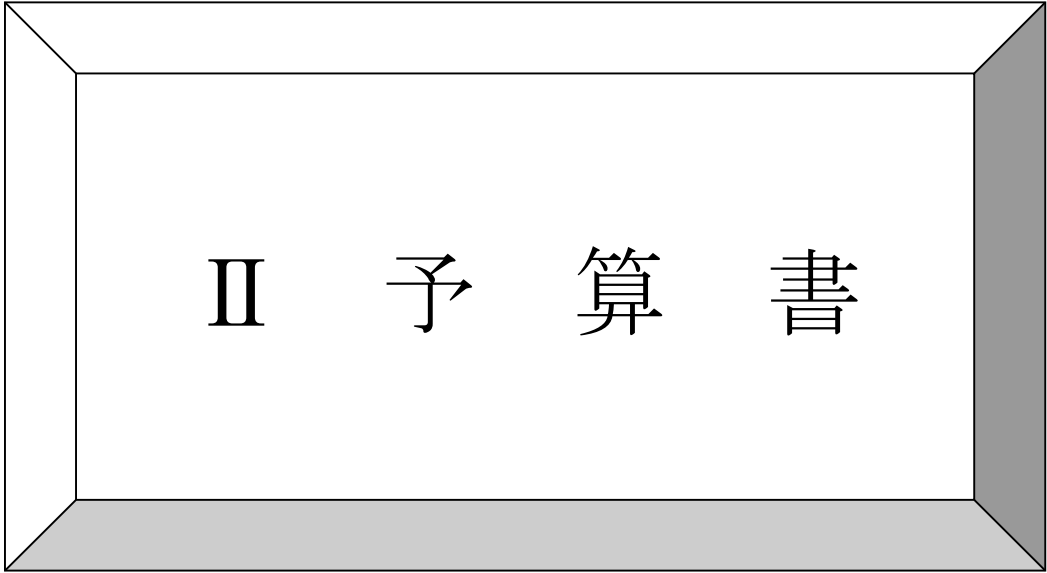
利用者のマイレール意識の醸成、また、将来的な利用促進やL R Tの導入に合わせた交通安全意識の高揚を図るため、行政との連携・協力による住民参画の取組をはじめ、子どもから高齢者まで、様々な対象や場面ごとに、L R Tに乗ってみたいと思っただけのような広報や、交通ルールやマナーをわかりやすく学ぶことができる、効果的な広報活動を検討し、実施する。

(2) 各種グッズの作成・効果的なP Rの検討

- ・ 公共交通としてのL R Tの魅力を発信するとともに、利用者のマイレール意識の醸成や、将来的な利用促進を図るため、シンボルマークや、車両デザイン等を活用した魅力あるノベルティグッズを検討し、作成する。
- ・ 開業に向けた機運醸成を図るため、今後予定されている車両の納車や、車両基地管理棟の竣工など、事業の節目となる機会を捉え、行政と連携しながら、P Rを実施する。

(3) 交通政策とまちづくりに関する視察調査等の実施

株主や地元経済界が、L R T事業についてなお一層理解を深めること、また、工事の進捗具合を確認することを目的とした工事見学会を実施するとともに、日本や海外の効果的な交通施策を学び、L R T導入後の地域のまちづくりやそれぞれの事業活動に還元・寄与することを目的とした視察調査を実施する。



II 予算書

令和2年度 予算

収入の部

(単位:千円)

大項目	中項目	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	備考
1 広告収入		720	600	
	1 広告収入	720	600	
2 雑収入		20	20	
	1 受取利息	10	10	
	2 雑収入	10	10	
収入合計		740	620	

令和2年度 予算

支出の部

(単位:千円)

大項目	中項目	令和元年度 予算額 ①	令和2年度 予算額 ②	増減 (②-①)	備考
1 事業費		85,520	165,370	79,850	
	1 役員報酬	15,400	15,500	100	
	2 給料及び手当	39,700	86,000	46,300	
	3 法定福利費	8,800	30,000	21,200	
	4 福利厚生費	200	500	300	
	5 旅費交通費	4,900	5,700	800	
	6 通信運搬費	700	1,000	300	
	7 賃借料	1,650	2,100	450	
	8 地代家賃	3,050	3,000	-50	
	9 保険料	550	600	50	
	10 光熱水費	350	300	-50	
	11 消耗品費	1,100	400	-700	
	12 租税公課	150	150	0	
	13 印刷製本費	50	300	250	
	14 広告宣伝費	100	1,200	1,100	
	15 支払手数料	300	1,700	1,400	
	16 委託料	2,400	15,550	13,150	
	17 支払報酬料	150	400	250	
	18 図書費	50	200	150	
	19 交際費	70	120	50	
	20 負担金	250	350	100	
	21 会議費	250	300	50	
22 養成費	5,350	17,500	12,150		
2 法人税、住民 税、事業税等		3,350	3,400	50	
	1 法人税、住民 税、事業税等	3,350	3,400	50	
3 予備費		1,000	1,000	0	
	1 予備費	1,000	1,000	0	
支出合計		89,870	169,770	79,900	

Ⅲ 役員に関する事項

1 役員名簿（令和2年6月1日現在）

	役 職	氏 名	重要な兼職の状況等
1	代表取締役社長	高井 徹	元宇都宮市 副市長
2	取締役副社長	古谷 一良	芳賀町 副町長
3	常務取締役 運輸企画部長	中尾 正俊	元広島電鉄株式会社 常務取締役
4	取締役	高橋 功	宇都宮市 建設部長
5	取締役	丹羽 章泰	宇都宮商工会議所 専務理事
6	取締役	中津 正修	とちぎライトレール支援持株会 業務執行組合員 日本オービス株式会社 代表取締役会長
7	取締役	小林 信二	芳賀町商工会 会長
8	取締役	吉田 元	関東自動車株式会社 取締役専務執行役員
1	監査役	新村 健司	株式会社足利銀行 地域振興部長
2	監査役	福田 善之	株式会社栃木銀行 法人営業部 地域創生室長